

科目ナンバー	D10401	要件	教職必修 保育必修	授業形態	演習	対象学生	II A III C D
授業科目	教職実践演習(幼稚園)						
実施期	後期	単位数	2単位	授業担当者	恒岡 宗司・中田 章子・川村 富子・藤戸 輝子		
【科目の概要】							
大学の授業で学んだ知識・保育技術と実習での経験を統合しながら、保育者として求められる資質の更なる向上を図る。また、履修カルテ作成を通じた自己評価活動を演習形態で行い、manabaを活用したフィードバックを行う。保育カンファレンスでの意見発表や模擬保育、ロールプレイ、教材作り等も内容として取り入れ、実際の保育現場を想定した課題を設定して問題解決に取り組む。							
【この科目を通して獲得を目指す力】							【関連DP】
ア	実習経験で得られた保育の知識や技術、未経験の公簿作成の仕方を実践的知識として総合的に理解している。						1-d
イ	子どもや保護者との対話を通じた援助方法や保育相談技術を身に付けている。						2-b
ウ	実習で経験した保育の展開や教材作り、環境構成を振り返り、模擬保育を通して自分の保育観・教育観を見直していくことができる。						3-d
エ	履修カルテ作成と教師からのフィードバックを通して今後の自己課題を見だし、その克服に取り組んでいこうとしている。						4-c
【授業の内容】				【実施日】	【授業時間外学習の内容】		
1	履修カルテ作成の意義とmanabaでの入力の実際			月 日	締め切り期日までに履修カルテへの入力を行う。(2時間)		
2	実践題材(1)	テーマ「子どもの命を守る危機管理の在り方」(避難訓練のロールプレイでの意見交換)		月 日	テーマに即した実習先での経験をまとめておく。		
3	実践題材(2)	テーマ「子どもの命を守る危機管理の在り方」(刺股を使った不審者対応の実験体験)		月 日	刺股体験の振り返りをまとめる。(1時間)		
4	実践題材(3)	テーマ「公簿の法的位置付けと幼児指導要録記入の実際」		月 日	指導要録の配付資料を読んでおく。(0.5時間)		
5	実践題材(4)	テーマ「出席簿の性格と記入の実際」		月 日	出席簿の配付資料を読んでおく。(0.5時間)		
6	実践題材(5)	テーマ「出席簿記入の実務体験」(実務作業に対するフィードバック)		月 日	時間内に仕上げられなかった出席簿の未記入事項を完成させる。(1時間)		
7	実践題材(6)	保護者からの要求への対応で求められる力(保護者対応のロールプレイと相互評価)		月 日	配付資料を事前に読んでおく。(0.5時間)		
8	実践題材(7)	就職先で求められる力(保育現場からの評価と獲得を目指す力の確認)		月 日	就職に向けて保育に関する知識・技術等について自分の力量を振り返る。		
9	実践題材(1)	テーマ「保育者に求められる資質とは」(グループ協議の発表)		月 日	保育者論などの他科目の参考記述を探しておく。(0.5時間)		
10	実践題材(2)	テーマ「実践力向上のための職員研修の在り方」(DVD視聴)		月 日	研修の意義についてまとめる。(0.5時間)		
11	研究題材(1)	「個の理解と学級づくり」		月 日	実習での学級集団における子どもの様子を振り返っておく。		
12	研究題材(2)	「園の保育方針や学級経営の伝え方」		月 日	自分の学級経営についてまとめる。(0.5時間)		
13	研究題材(3)	「保護者との信頼関係を築く連絡帳の在り方」(連絡文書の相互評価)		月 日	実習先での保護者への連絡の内容を振り返っておく。(0.5時間)		
14	研究題材(4)	「学級だよりの作成」		月 日	実習先での便りなど、参考資料を調べ集めておく。(0.5時間)		
15	研究題材(5)	「地域との連携・協力」(交流活動案の作成)		月 日	実習で経験した地域との関係を振り返っておく。(0.5時間)		
16	保育展開の構想を協議(グループごとに発表)			月 日	保育展開について意見交換ができるように考えておく。(0.5時間)		
17	具体的な保育展開についてのグループ協議			月 日	教材作成に必要な材料の準備をする。(0.5時間)		
18	教材作り			月 日	模擬保育の計画書を仕上げる。(1時間)		
19	教材作りと保育展開の工夫			月 日	教材準備及び模擬保育の展開について進捗状況を把握しておく。		
20	模擬保育(前半グループ)及び他者評価(発表)			月 日	グループで協力し、模擬保育ができるように練習をしておく。(0.5時間)		
21	模擬保育(後半グループ)及び他者評価(発表)			月 日	他者評価を一覧表に記入・作成する。(0.5時間)		
22	まとめ・振り返りレポート			月 日	他者評価を仕上げ、自己評価や学びを記録する。(0.5時間)		
23	場面に応じた言動「話し言葉・書き言葉・敬語」(発表)			月 日	実習日誌や礼状の書き方を振り返る。(0.5時間)		
24	授業設計と模擬保育 カプラ積木遊び(発表)			月 日	子どもの興味を引き付ける保育展開のアイデアを考えておく。		
25	模擬保育—伝承遊び「教材作り」			月 日	日常から学生間で模擬保育を展開できる人間関係を築いておく。		
26	模擬保育—集団遊び(発表)			月 日	遊びの楽しさをどのように子どもに伝えるかについての方法を探しておく。(0.5時間)		
27	模擬保育—ゲーム遊び			月 日	実体験の楽しさを保育者目線や子ども目線で考えておく。		
28	模擬保育—伝承遊び「わらべ歌遊び」			月 日	「大和のわらべ歌」の遊び方を経験から出し合えるようにしておく。(0.5時間)		
29	履修カルテの作成入力			月 日	履修カルテに入力する文章を考えておく。		
30	まとめ・振り返りレポート			月 日	実践の積み重ねを保育現場で生かせるように整理しておく。		
【教科書・テキスト】				【成績評価の方法】			
なし				授業への参加 30% 意欲・態度 20% 履修カルテの作成 50%			
【参考書・教材】 適宜、資料を配付します。							
【履修要件及び履修上の注意事項】 何度も注意を受けるなど授業参加態度不良学生については、科目の特性に照らして失格扱いにする。							
【履修上の遵守事項】 履修カルテをはじめ課題提出については、自分で作成時間の確保を工夫し、締め切り期日を厳守すること。履修カルテの作成はmanabaを利用する。履修カルテの評価配点が高いので、提出に当たっては記述内容に十分留意すること。							
【連絡先・オフィスアワー】							
連絡先: N6 (恒岡) 研究室				オフィスアワー:			